◎里山の再生

↑ 高さ10メートルに及ぶ土砂・コンクリートその他の廃棄物

上の写真の溝から左側は、隣家の元田んぼだった所です。1982年頃、土建業者が田んぼを借用して土砂を入れ始めました。鉄筋の入ったコンクリート、廃棄されたブルドーザー、5～6メートルもの鉄骨、ガラス、バッテリーなどが混入しています。

溝から右側は、私の裏庭です。数年前から土砂が溝を超えて私の私有地に崩れ落ちて来ました。

溝の上にかぶさっていた土砂を、手作業で50メートルも離れた道に止めてあるトラックに毎日まいにち運んで、写真左側のようにある程度平らにしました。けれども写真が示すよ

うにドッサリ土砂が溝をふさいでいます。大きなコンクリートの塊があるため、現在作業はストップ。

溝に土砂がこれ以上入らないように、写真のように土手の上から落ちてきたコンクリート廃材をかぶせました。

◎左の土地（事故物件）を購入

溝の左側の土地は、3アール（約1000坪）の面積があります。信頼できる土木業者に相見積もりを取ると、詰め込まれた土砂が全て「土」であるとして、7000万円の処分費用がかかるとのことです。コンクリート・鉄くず・ガラス・プラスチックごみは別料金です。

そんなにお金がかかる土地なのに購入の話を進め、2019年12月、〇〇〇万円で購入しました。

「なんでそんなに高い値段で・・・」
と言われましたが、自宅の前に廃棄物が棄てられたことに今まで心を痛めていました。土地の所有者が売りたがっていることがわかり、2017年頃から交渉を始めました。

◎お掃除開始！！！

3アール（約1000坪）の面積に詰め込まれた土砂・ごみを大っぴらに解決出来るようになりました。最終的に、パワーショベルを購入してトラックで運びます。他人に頼めば7000万円かかるのであれば、自分で20～30年かけてでも解決します。

パワーショベルを譲ってあげようという人。どこかに出てこないかな・・・・・・・・。